

上北山村

上北山村が目指す子育て環境

R元. 8. 26 第2回奈良県・市町村長サミット資料

少子高齢化が進む本村において、子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子どもたちの健やかで生き生きとした成長を支援することにより、次代を担う若者の定住を促進するとともに、地域が一体となって子どもの成長を見守り、子育てを支える環境づくりを推進することで、上北山村を支える若い世代が、子どもを生み育てやすく、また、村の未来を担う子どもたちが、健やかに育ち、豊かな自然と伝統・文化に恵まれた上北山村で育ったことを誇りに思えるような子ども・子育て環境の整備に取り組んでいきます。

1 基本データ <県記載>

- ・順位は県内市町村の降順
- ・カッコ書きは県全体の数値

①人口増減率（H11年4月～H30年12月・約20年間）

増減率	順位	うち自然増減		うち社会増減	
		増減率	順位	増減率	順位
▲48.3% (▲6.2%)	38位	▲16.5% (▲2.1%)	26位	▲31.9% (▲4.1%)	39位

②合計特殊出生率

H20～24年(年率)	順位	対H15～19年(年率)増減	③有配偶出生率 (15～49歳女性有配偶者1,000人あたりの出生数)	
			H27年	順位
1.26 (1.29)	19位	+0.05 (+0.06)	0.0 (74.4)	37位

④出生数(人)

H30年	⑤年少人口割合(15歳未満)		
	H30年10月	順位	対25年10月増減
1 (8,947)	2.7% (12.0%)	39位	▲1.6 [※] ｲﾄ (▲0.7 [※] ｲﾄ)

⑥子育て世代割合(25～44歳)

H30年10月	順位	対25年10月増減
13.7% (20.7%)	31位	▲1.0 [※] ｲﾄ (▲3.8 [※] ｲﾄ)

2 子育て家庭の現状と支援に関する課題

- ① 小中学校・保育園の状況：生徒、園児の減少により、子どもたちの日常放課後活動（習い事等）の選択肢の狭まり、並びに集団生活を経験させる機会の減少。
- ② 放課後活動支援事業：放課後支援員の人員不足
- ③ 子育て支援施策：村広報紙、チラシ、保育園・やまゆり学園からの便り等通じて提供や周知を行うとともに、民生児童委員、保育園での情報提供、保健師の訪問等、状況を把握し早急な対応に努めている。

3 子育て家庭への支援に関する基本的な考え方（目指していること）

- ① 地域が一体となって子どもの成長を見守り、子育てを支える地域づくり
- ② 保育園・学校・家庭・地域が連携した教育、特色ある学校づくり、「地域とともにある学校づくり」の推進
- ③ 子ども・子育て支援事業の充実（安心して子育てのできる環境づくり）

4 子育て家庭への支援に関する特徴的な取組

- ① 子ども子育て支援金：1～18歳まで毎年100千円支給（定住者）
村小学校入学時100千円、村中学校卒業時100千円
- ② 誕生祝金：第1子100千円、第2子300千円、第3子以上500千円
- ③ 結婚祝金：50千円、結婚定住奨励金：夫婦1組に対し300千円（3年以上定住者）
- ④ 生後1ヶ月健診の全額費用助成、中学年齢まで任意予防接種全額費用助成
- ⑤ 通常保育料の無償化、保育園から中学校までの給食費の実質無償化
- ⑥ 海外ホームステイ留学無償参加（3年に一度、対象：中学生）

5 多様な主体による子育て支援の取組

- ① 保護者が孤立したり不安を持つことなく、子育てができるよう、地域全体で支援に取り組む
- ② 異年齢（親子、祖父母や孫）で共に楽しむ事ができる軽スポーツ等による三世代交流機会の充実
- ③ 小・中学生と地域住民との交流（学校公開、お弁当給食会）
- ④ 学校長期休暇中、周辺町村と連携し、児童クラブの開催

詳しくは 上北山村ホームページ
<http://vill.kamikitayama.nara.jp>